

事例の概要

① 基本情報

氏名	上田友子
生年月日	昭和14年11月11日 80歳
性別	女性
要介護度	要介護3
障害高齢者自立度	A1
認知症高齢者自立度	I

② 生活状況

農家を営む両親のもと第3子次女として生まれる。中学を卒業後、地元の看護学校に通い、卒業後は看護師として働く。25歳の時に見合い結婚をして、娘2人が小学生に上がると看護師の仕事を再開する。50歳の時に夫に先立たれるも65歳まで夜勤も行ってた。その後はデイサービスにて週3日間70歳まで務める。退職して5年経ったあとにリウマチが進行した。仕事を辞めてから役割を失い生活環境の変化を受け入れられない様子があり、生活リズムが乱れていた。娘と同居していたが在宅での介護が困難な状況にあり施設入所となる。入所して5年、症状は落ち着いている。

② 健康状態等

リウマチにより服薬管理を行っている。

便秘症、難聴

④ 趣味・好む活動

犬や猫が好きで自宅では今も娘が飼っている。昭和時代のグループサウンドをよく聞いていた。

⑤ 家族構成

末娘、孫と同居していた。長女は近くにお嫁に行ったが介護に協力的。

⑥ 使用福祉用具

自助具（スプーン、皿）、ストロー付マグカップ、体位変換用クッション、3モーターベッド

⑦ 生活習慣

発症する前は、美に関する意識が高く化粧は毎日、お手入れは全身にしていた。犬の散歩が日課だった。入所後は音楽を聴く時間を毎日設けている。

⑧ サービス利用状況

施設入所

⑨ サービス利用中の様子

入所当初から病状の変化はなく、食事以外は自室で過ごすことが多い。最近、リウマチが進行して、指先に力が入りにくく、寝返りが大変になってきている。週末には、娘さんたちが面会に来訪し、犬や猫の写真を見せたり、施設の庭で犬や猫に会わせている。好む音楽は、いつでも聴けるように準備をしている。